

2026年3月30日

もぐさえん
京王百草園「松連庵」が
文化庁の登録有形文化財に登録されます

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、取締役社長：都村 智史、以下「京王電鉄」）が運営する「京王百草園」（住所：東京都日野市百草560）園内の松連庵が、このたび2026年（令和8年）3月26日（木）に開催された文化庁文化審議会・文化財分科会の審議・議決を経て、登録有形文化財として登録するよう、文部科学大臣に答申されました。今後、官報告示を経て正式に登録される予定です。

松連庵は多摩川丘陵南東端に広がる京王百草園の東面に位置し、江戸時代にこの地にあった松連寺の庫裏を転用した茅葺屋根の園内施設で、間取りには江戸時代末期から明治前期までの多摩地域における上層民家の特徴があり、歴史的景観に寄与している建物であることが高く評価されました。

京王電鉄では、登録された松連庵を貴重な文化遺産として多くの方に発信し、京王百草園を訪れる方々に昔の面影を偲ばせる憩いの場を提供する観光資源として活用を図ってまいります。今後とも、文化財を大切に、かつ適切に維持管理し、次の世代へと継承してまいります。



《松連庵外観》



《松連庵内部》

本件のポイント

- ① 京王百草園内の松連庵は、3月26日（木）に開催された文化庁文化審議会・文化財分科会の審議・議決を経て、登録有形文化財として登録するよう、文部科学大臣に答申された
- ② 間取りには、江戸時代末期から明治前期までの多摩地域における上層民家の特徴があり、歴史的景観に寄与している建物であることが高く評価された
- ③ 今後とも、文化財を大切にかつ適切に維持管理し、次の世代へと継承していく

松連庵について

1. 概要

松連寺は1873年（明治6年）に廃寺となり、荒廃していたものを百草村出身の生糸商人であった青木角蔵が1887年（明治20年）に整備して百草園を開園し、この建物を「百草園養生館」と名付けました。以降、青木家が維持管理をしていましたが、1957年（昭和32年）に京王電鉄が取得し、「京王百草園」として再整備した際に松連寺にちなみ「松連庵」と名称を変更しました。

また、多摩丘陵南東端に広がる百草園に東面して建ち、木造平屋建ての寄棟造で、平入り、茅葺きの建物です。北側を土間とする六間取の間取りで、正面に二間半の式台玄関を設けており、南側の和室に床脇のある床の間を備えています。近世の名主層の接客空間を現在は貸し室として使用されているため、江戸時代末期から明治前期までの多摩地域における上層民家の特徴を見ることができます。

なお、日野市内で茅の葺き替えを行っている唯一の茅葺き民家としても貴重な存在です。

2. 松連庵の建設年代および改修歴

(1) 建設年代

江戸後期（文献調査：「武蔵名勝図会」1820年（文政3年）
と小屋裏の痕跡調査から推定）

(2) 改修歴

明治中期：百草園開園に向けた整備

昭和中期：土間廻りと入母屋造を寄棟造に改修

平成7年：軸組み歪み補修、縁側軒廻りの補強

令和7年：耐震改修



『武蔵名勝図会』文政3年(1820)「松連庵」

《武蔵名勝図会の松連庵》

3. 松連庵の特徴

- ・木造平屋建て・寄棟造茅葺き。梁間四間、桁行八間半、北側に土間を有する六間取。
- ・東側正面に式台玄関を設け、茅葺きの軒下から差し掛けの屋根をかける。
- ・小屋組は扱首組とし、上屋柱の高さは約4.5メートルと高い。
- ・柱芯寸法は一間約1.89メートルと、一般的な関東間より大きい。
- ・東南西側の三方に茅葺き葺き下しの縁側を設ける。和室と縁側は腰付き障子で間仕切られ、縁側の外側には雨戸が入り、ガラス戸はない。
- ・南側の和室のうち、西の和室は床の間・床脇を備えた格式の高い部屋で、庭の心字池を眺められる。東の和室は斜面に向かって眺望が開けている。
- ・外壁は土壁・漆喰塗り。



《松連庵外観》

【参考1】登録有形文化財について

登録有形文化財は、1996年（平成8年）の文化財保護法改正により創設された文化財登録制度に基づき、日本国によって文化財登録原簿に登録された有形文化財のことで、詳しくは、建築物、土木構造物及びその他の工作物（重要文化財及び文化財保護法第182条第2項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。）のうち、原則として建設後50年を経過し、かつ、次の各号のうちいずれか一つに該当するものです。

1. 国土の歴史的景観に寄与しているもの
2. 造形の規範となっているもの
3. 再現することが容易でないもの

※松連庵は基準1に該当となります

【参考2】京王百草園について

1957年3月に開園した、日野市指定史跡・名勝。

約26,000㎡の園内に梅の木が約50種500本あり観梅の名所としても知られ、毎年2月から3月に「梅まつり」が開催されます。その他の催事として、春に「新緑まつり」、秋に「紅葉まつり」を開催しているほか、若山牧水の歌碑、松尾芭蕉句碑などがあります。

(1) 所在地 東京都日野市百草560番地

(2) 営業時間 9:00～17:00（11月・12月は16時30分まで）

(3) 定休日 水曜日（祝日の場合は翌日、年末年始：12月30日～1月3日）

(3) 入園料 大人500円（税込み） 小人100円（税込み）

※年間パスポート大人2,000円（税込み）園内中央の「松連庵」で販売中。

(4) アクセス 京王線百草園駅下車徒歩10分

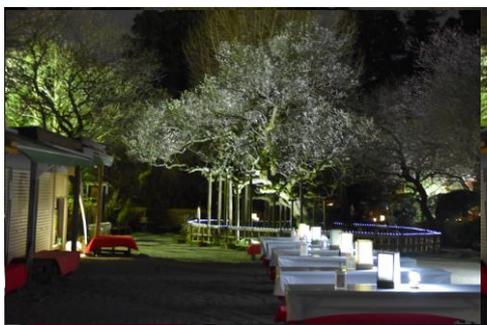
または聖蹟桜ヶ丘駅・高幡不動駅からタクシー10分

※京王線新宿駅から約35分（特急利用、府中駅乗り換え）

※駐車場、駐輪場がございませんので、ご来園の際は電車をご利用ください。

※百草園駅から当園までの間、一部急坂の箇所があります。

(5) URL <https://www.keio-mogusaen.jp/>



《梅まつりのライトアップ》



《紅葉まつりのデジタル掛け軸》